

## 2. C++

### 2-1 : C/C++言語基本ルール

- ・ 使えるのは半角英数のみ

C/C++言語のプログラムをするときは、基本的に半角英数を使います。

- ・ {}の中に処理の内容を書く

ひとつかたまりの処理は「{」と「}」で囲まれた範囲に書きます。

- ・ 各命令の一番後ろにセミコロン「;」を付ける

この地点で一つの処理が終了することを示します。日本語で言うところの句点「。」と同じ意味となります。(セミコロンを付け忘れるとエラーが出ます) このルールは意外と忘れやすいので注意しましょう。

例 `int a = 10;`

- ・ コメント文を書く

プログラムが長くなってくると、そのプログラムの意味が一目見ただけでは分からなくなる場合が多くなってきます。そういう場合コメント文というものを使いソース上にメモを残すことで解りやすくなります。

書き方は、プログラムのソース上で、//と書くとその一行が認識されなくなり、/\* ~ \*/と書くと、中に書かれた「~」の部分が認識されなくなります。

この方法を使えばソース上に日本語を書いたり、一部のプログラムを無効化させて見直すことができます。

より高度なプログラムになるほどコメントの必要性が高くなります。

例

```
//-----  
//この行は認識されません。  
この行は認識されます。  
/*  
ここから  
  
ここまで認識されません。  
*/この部分は認識されます。  
//-----
```

ここまで説明してきたことがC/C++の基本的なルールです。  
この言語を使う上でとても重要な約束なので、覚えておきましょう。

#### ・フォルダの中のファイルの参照

プログラムを組む時、画像や効果音などのファイルを個別にフォルダにまとめて扱うほうが分かりやすいし編集しやすくなります。

そして、フォルダの中のファイルを読み込むためのパスは「“フォルダ名¥¥ファイル名”」というように「¥¥」をフォルダ名の後に付けてファイル名を書きます。これで、フォルダの中のファイルを参照できるようになります。

例

```
Image1->LoadFromFile( "BMP¥¥picture.bmp" );
```